



## 新型コロナウイルス感染症について

この原稿は5月15日現在の情報をもとにお届けします。

緊急事態宣言が解除されているかは定かではありませんが、コロナの終息を願って！明日へ！

巷には色々な情報が飛びかっていますが、決して、怖がることはありません。ただし、高齢者や持病をお持ちの方は急激に重症化する場合があります。

まずは、正しい知識を知ること、聴覚障害者の方々への情報提供者となれることが大切です。

厚生労働省のWebには様々な情報が集約されています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

### ※3つの密を避けましょう

密閉、密集、密接をしない 会議や仕事は 換気の良い部屋で、距離を取って、短時間で

※新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安（5月11日厚生労働省）

人との接触を8割減らす、10のポイントなどを参考にして下さい。

### Q&A

Q 友人たちとの鍋料理や宴会は感染につながりますか？

A はい。飛沫感染（唾液や咳）、接触感染（手に触れる）のリスク（感染の確率）を減らすため、料理は個々に、横並びで、おしゃべりは控えめに。

Q マスクは仕事でもしておいた方が良いですか？

A マスクは相手にうつさない事が主な目的です（無症状の感染もあります）。

マスクをしていることで、手指で鼻や口を触らない用心になります。（自分の予防）

Q 手話で会話をするのにマスクが邪魔です。

A お互いに咳が出る、大声になり唾液が飛ぶなどを避けるために2m以上の距離を保ちましょう。寂しくてもテレビ電話などで連絡を取り合いましょう。

通訳者は透明なフェイスシールドなどを活用しましょう。（洗浄や消毒を忘れずに）

Q 熱が出ました。感染したのでしょうか。

A 風邪症状だけでは、コロナとは限りません。症状が続くときはかかりつけ医へ相談しましょう。詳しくは厚生労働省のQ&Aを参照してください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html)

※手洗い、うがい、咳エチケットを実行して <sup>かか</sup> 罹らない！うつさない！予防を！

※感染については2019年10月号・感染・インフルエンザ、手洗いは11月の怖いノロウィルスの回を参照してください。

質問は医療班メンバーまでお気軽に！！

## 新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安

## 1. 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。
- 基礎疾患（持病）をお持ちの方で症状に変化がある方、新型コロナウイルス感染症以外の病気が心配な方は、まずは、かかりつけ医等に電話で御相談ください。

## 2. 帰国者・接触者相談センター等に御相談いただく目安

- 少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。（これらに該当しない場合の相談も可能です。）

☆ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

☆ 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合  
（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

- 相談は、帰国者・接触者相談センター（地域により名称が異なることがあります。）の他、地域によっては、医師会や診療所等で相談を受け付けている場合もあるので、ご活用ください。

（妊婦の方へ）

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センター等に御相談ください。

（お子様をお持ちの方へ）

小児については、小児科医による診察が望ましく、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。

※なお、この目安は、国民のみなさまが、相談・受診する目安です。これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

## 3. 医療機関にかかる時のお願い

- 複数の医療機関を受診することにより感染を拡大した例がありますので、複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。